

1 単元名 サラダパーティをひらこう

2 対 象 第1学年1組 31名

3 単元について

子どもたちが意欲的に言葉の力を習得していくためには、どのような工夫を行えばよいのか。これが、今の私の課題である。というのは、本学級では入学当初から暴力を伴うけんかが絶えず、このような殺伐とした人間関係を改善していくには、言葉の力を育てていく必要があると実感しているからである。

人間関係をつくっていく上で言葉が果たす役割は大きい。自分の思いを言葉で伝え合うことにより、お互いの気持ちが理解できるようになり、温かい人間関係が築けるのである。「聞かなければ、友だちの気持ちは分からない」し、「話さなければ自分の思いも伝わらない」のである。そして、自分の思いを伝え合うことにより、人間関係の改善や深化をはかることができる。とすれば、本学級においても、一人一人の子どもたちが言葉の力を習得し、自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになれば、お互いの気持ちが理解できるようになり、けんかの回数が減っていくに違いない。

そこで、学習者が意欲的に学習に取り組めるような単元を設定し、その過程の中で言葉の力を育てていこうと考えた。

本学級の子どもたちは食べることと生活科、図工科の学習が大好きである。この子どもたちに「サラダをつくり、お家の方も招待して、パーティをひらこう」と呼びかければ、意欲的に学習に取り組むに違いない。まず、教科書教材「サラダでげんき」を使って登場人物のりっちゃんがつくったサラダのつくり方を読み取り、それを基にレシピを作成する。次に、給食調理員の先生や5年生から教えてもらったことを参考にして自分が考えたサラダのレシピをつくり、友だちにも紹介する。最後に、お家の方を招待して自分のつくったサラダと一緒に食べてもらう。

学習者の目標はサラダパーティを開くことであり、指導者の目標はその過程で「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語能力を育てることにあるという授業構成になる。そうすれば、国語の学習に対し、「嫌い」「すごく嫌い」と答えた16%の児童も意欲的に学習に参加でき、オリジナルサラダで家族をもてなすことにより満足感を得ることができるであろうと考え、この単元を設定した。

4 単元目標

サラダパーティを開くことに関心をもち、オリジナルサラダをつくることによって、進んで学んでいこうとする意欲と態度を身に付ける。

サラダパーティを開く学習を通して、表現力や理解力を身に付ける。

登場人物の言動に注意しながら話の展開を読み取る力を付ける。

先生や身近な人に尋ねたことをまとめて書く力を付ける。

尋ねたり応答したりする力を付ける。

5 実施に当たっての工夫点

ア 単元構成の工夫

「サラダパーティをひらこう」という学習課題を決め、その目的に向かって「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の活動を展開していく。

イ 手引きの使用

文の書き方や話し合いの仕方についての手引きを用意し、学習活動を支援する。

ウ 他教科との関連

生活科や図工科と関連させ、楽しく学習ができるように工夫する。

6 単元構成（全 27 時間 国語 18 時間 生活 6 時間 図工 2 時間 学級会 1 時間）

次	時	学習過程	学習活動	言語活動	形態	手引き	支援・留意点
		事前指導	野菜や調理に関心をもつ。		一斉		料理や野菜が登場する絵本の読み語りをしたり，野菜の種まきをしたりして，野菜や調理に関心をもてるようにし向けておく。
一	1	サラダパーティを開く計画を立てる。	おいしいサラダをつくらうという学習のめあてをもつことができる。	聞く	一斉	「野菜となかよし」の単元での活動内容	「野菜となかよし」という生活科の単元でどんなことがしたいか話し合い，いくつかの活動の一つとしてサラダづくりを位置付け，家の人を招待して一緒に食べる計画を立てるようにする。
二	1	教科書教材「サラダでげんき」を読み，りっちゃんのサラダの作り方を読み取る。	サラダの作り方を教科書教材から読み取っていくことを確認する。	話す・聞く	一斉	サラダパーティまでの学習の道筋	サラダの作り方を教材文から読み取って，いこうという目的意識をもつことで，主体的に学習に参加できるようにする。
	8		りっちゃんのサラダの作り方を読み取る。	読む	一斉	内容の読み取り	登場した動物がどんな材料をどんな理由で紹介してくれたのかを読み取らせる。 音読の工夫や動作化を取り入れ，会話文や擬音語・擬態語のおもしろさを感じ取らせる。
	2		りっちゃんのサラダのレシピをつくる。	読む	個別	りっちゃんのサラダのレシピ	ワークシートを準備し，りっちゃんのサラダのネーミング材料，完成予定図をまとめさせる。
		サラダパーティを開く準備をする。	自分流のサラダのレシピをつくる。				レシピづくりに先だって，給食調理員の先生から「サラダに使う主な材料の紹介」や「簡単な作り方の説

三	2			書く	一斉 個別	<p>教師が発明したサラダのレシピ・ネーミングや材料・調理例（掲示物）</p> <p>明'などサラダづくりに必要な情報を教えてもらう。</p> <p>教師の考えたサラダを紹介し、レシピづくりの参考にさせる。レシピの書き方を知らせ、絵と文で表現させる。（サラダのネーミングの由来、完成予定図、材料、つくり方、工夫したところ）</p> <p>レシピとネーミングの手引きを準備しておき、必要に応じて活用できるようにしておく。</p>
	1	サラダづくりについて5年生に相談する。		書く	個別	<p>5年生への質問の例</p> <p>サラダをつくるにあたって分からない点を解決するためにはどうしたらいいか考えさせ、サラダづくりを体験している学年に先生として来てもらったらいいことに気付かせる。その上で、1学期調理実習でサラダをつくっている5年生に、サラダの先生になってもらうことを提案する。</p> <p>5年生に聞きたいことやアドバイスしてほしいことを書き出し、目的を明確にしておく。</p>
	1			話す・	対話	<p>5年生との対話</p> <p>全員の児童に自分なりの目当てをもって聞こうとする意識が芽生えるように、5年生一人と1年生一人による一対一の対話形式の場を設定する。</p> <p>5年生に事前調査を行い、誰がどんなことなら教えることができるのかを把握し、1年生との組をつくってお</p>

			聞く		の進め方	<p>く。</p> <p>5年生は、自分が担当する1年生の質問にきちんと答えられるように前もって準備をしておく。</p> <p>対話が終わったら、5年生からサラダや話し方についてのアドバイスをカードに書いてもらう。</p>
1		「どんなサラダができたかなの会」を開き、オリジナルサラダを友だちと紹介し合う。(本時)	話す・聞く	対話	<p>教師の演示による対話の進め方・質問の例</p>	<p>一対一の対話の形式で自分の考えたサラダを紹介し合い、サラダや話し方のよいところを認め合ったり、サラダについて聞きたいことを尋ね合ったりする。</p> <p>質問や感想の例を書いた手引きを用意し、対話がスムーズに進められるように支援を行う。</p>
2		お家の人にパーティの招待状を作る。(図工)				<p>カードの作り方を指導し、招待状を作成させる。</p>
2		買い物に行き、サラダの材料を購入する。(生活)	話す・聞く	対話	<p>お店の方との対応の仕方</p>	<p>自分のオリジナルサラダの材料を各自で購入させる。</p>
1		サラダパーティを進めていく上で必要な係を決める。(学級会)	話す・聞く	一斉	<p>進行の仕方</p>	<p>司会係、はじめの言葉・終わりの言葉を言う係等を決め、進行の手引きで支援する。</p>
2		自分が考えたオリジナルサラダをつくる。(生活)				<p>安全面と衛生面に留意してサラダをつくらせる。</p>
	サラダパーティを開く。	お家の人を招待してサラダパーティを			<p>サラダ</p>	<p>サラダをお家の方に紹介した後、一緒に食べる。</p>

四	2		開く。(生活)	話す・聞く	対話	の紹介の仕方の例	お家の方をお願いして、サラダの説明の仕方や味、その他に関する感想をカードに書いていただく。
五	1	事後指導	5年生と給食調理員の先生にお礼の手紙を書く。	書く	個別	手紙の書き方	書くことが苦手な児童のため、手紙の書き方の手引きを準備しておく。

7 本時



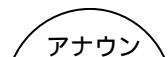

(1) 本時の目標

自分が聞きたいことや知りたいことをいろいろ質問することができる。

聞かれたことについて質問した人に分かるように答えることができる。

サラダについての説明を理解することができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援及び留意点	準 備 物
<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>自分が発明したサラダを紹介し合う。「どんなサラダかな」の会を開こう。</p> <p>2 目標や紹介の仕方について確認する。</p> <p>アナウンサー</p> <p>サラダについて分からないことや知りたいことをいろいろ質問することができる。</p> <p>コックさんの説明が分からないときやもっと知りたいことがあったときは、聞き直すことができる。</p> <p>コックさん</p> <p>アナウンサーに分かるようにサラダについての説明をすることができる。</p> <p>3 サラダの紹介をし合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>アナウンサー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コックさん</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>アナウン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コックさん</p> </div> </div>	<p>・サラダのネーミングの一覧表を提示し、全部で 31 種類のサラダができたことを知らせ、これから開く「どんなサラダかな」の会で紹介し合おうと呼びかける。</p> <p>・教師が実際にアナウンサーとコックさんになって対話を行い、その中で目標や紹介の仕方を確認させる。</p> <p>・事前に行った「どのサラダについて話が聞きたいか」という調査を基に、教師が対話の相手を決め、アナウンサー(質問する人)コックさん(質問に答える人)アナウンサーの話し方を評価する人、コックさんの話し方を評価する人の 4 人で構成するグループをつくっておく。</p>	<p>・サラダのネーミングの一覧表</p> <p>・コックさんの帽子</p>

<p>サーの質問の 仕方を評価 する人</p> <p>4 自己評価</p>	<p>の答え方を 評価する人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介は，図のようなパターンで4回行い，役割は交代させる。 ・自分の役割を意識させるために，「アナウンサー」「コックさん」「聞く人」と書いた旗を机の上に置かせる。 ・質問の項目が思い浮かばない児童のために，質問の例をいくつか紹介した手引きを準備しておく。 ・サラダ紹介が終わったら，サラダや質問の仕方・答え方について評価し合う。 ・みんなの前で代表のペアにサラダ紹介をしてもらう。 ・今日の交流会の自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を書いた旗 ・マイクロフォン ・質問の仕方の手引き ・相互評価カード ・自己評価カード
---	------------------------	--	--